

H. 23 年度土壤汚染対策法施行状況等に関する調査結果について



環境省は、平成 23 年度の土壤汚染対策法の施行状況及び土壤汚染調査・対策事例等に関する調査結果について、平成 25 年 5 月 24 日に公表しました。

都道府県等が把握している平成 23 年度までの土壤汚染調査の事例は、累計で 13,954 件であり、うち土壤環境基準又は指定基準に適合しない事例は、累計で 7,022 件でした。尚、平成 23 年度の調査事例は 1,961 件(法対象は 685 件)で、うち超過事例は 943 件(法対象は 468 件)でした。

これまでの超過事例 7,022 件を項目別に分類すると、揮発性有機化合物(VOC)(第 1 種特定有害物質)では、トリクロロエチレン(910 件)が最も多く、次いでテトラクロロエチレン(793 件)、ベンゼン(734 件)、シス-1,2-ジクロロエチレン(645 件)が多くなっており、重金属等(第 2 種特定有害物質)では、鉛及びその化合物(3,452 件)が最も多く、次いでふっ素及びその化合物(1,973 件)、砒素及びその化合物(1,905 件)の順に多い結果でした。

また、平成 23 年度において法第 3 条調査が適用された有害物質使用特定施設は、「酸又はアルカリによる表面処理施設」(220 件)、「電気めっき施設」(138 件)、「科学技術に関する研究、試験、検査、又は専門教育を行う事業場の洗浄施設(100 件)の順に多い結果でした。

当社では、土壤汚染対策法に基づく指定調査機関として土壤汚染調査や土壤の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2013 年 5 月 24 日付 環境省ホームページ

土壤環境箇所 明石康伸